かけはし

令和３年３月号
高松市立
男木小・中学校

「今年も春が巡ってきました」

　柔らかな日差しが島にも降り注ぎ、春の訪れが感じられるようになりました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で学校が臨時休業になったり、様々な行事が中止、縮小になったりと初めて経験する出来事に翻弄された一年でした。そんな中でも確実に春が訪れ、男木の自然のたくましさを感じています。
　２月末にめおんが引退しました。雨の日も風の日も 34 年間という長きに渡り、ここで働く私たちの通勤の足となって私たちを支えてくれました。今は感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。
　４月からは学校再開後、８年目を迎えますが、これからも島の方々とともに支え合い、学び合い、ともに歩んでいく「地域とともにある学校」「チーム学校」をより深めてまいりますので、よろしくお願いします。　　校長　溝渕　浩二

3月 行事予定

１日(月)全校集会
２日(火)中央図書館読み聞かせ
３日(水)図書館指導員来校
９日(火)えのぐちゃんﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
　　ＳＳＷ来校
１０日(水)図書館指導員来校
１２日(金)児童生徒会
１５日(月)ＳＣ来校
１７日(水)図書館指導員来校
１９日(金)学年末懇談会
　　ＡＬＴ来校
２４日(水)終業式・修了式
　　離任式
２５日(木)学年末休業日(～3/31)

コラム

　昭和の頃、ラジオでは「全国こども電話相談室」という番組が放送されていました。その番組の回答者である無着成恭(ﾑﾁｬｸｾｲｷｮｳ)さんは、ある回に『型破り』と『形無し』の違いを聞かれ、次のように答えています。
　「基礎がしっかりとできていて、その上で型やしがらみを打ち破ることが『型破り』で、基礎も何もできていないのに、あれこれやるのを『形無し』と言うんだよ。」
　今年度は新型コロナウイルスが蔓延し、感染予防のために学校生活の様々な場でも対応を求められました。その都度、無着さんの言葉が浮かび、男木小中学校の『型』は何なのか、子どもたちの成長のためにはどうするべきか、本来の意義や意味を考えるようにしました。来年度からも、１人１台のタブレットＰＣやリモート交流など、大きな変化が予想されます。学校教育という『型』をしっかりと踏まえ、新しいものを取り入れていきたいです。

学校生活の出来事

小学校　入学周知会

１月２１日（木）に小学校入学周知会を行いました。小２と小３による学校紹介では、新１年生や保護者の方が小学校生活とはどのような感じか興味津々に聞いていました。その後、全校生でボール遊びをしました。

４月からは、新１年生が３名入学予定です。さらににぎやかになる小・中学校が楽しみです。

保育所との交流学習

１月２８日（木）に保育所との交流学習がありました。まずは、みんなで魚釣りをして、大きなたこやきらきらした魚など様々な海の生き物を釣ることができました。次にヨットカーで遊びました。自分だけのオリジナルのヨットカーを作成し、みんなで競争したことがとても楽しかったです。

13歳の自律教室

１月２９日（金）に１３歳の自律教室がありました。１３歳までは補導だけど、１４歳からは逮捕ということを知り、とてもびっくりしました。同時に、１４歳になると、責任が大きくなるので、自分の行動や発言などに責任を持って生活したいと思いました。

節分　豆まき

今年は１２４年振りに２月２日（火）が節分でした。節分といえば「豆まき」。今年は初めて運動場で「豆まき」をしました。大人が鬼滅の刃の鬼になり、子どもが鬼殺隊になりました。鬼が鬼殺隊を襲い、それに対抗して鬼殺隊は鬼に向かって豆をまき、豆をぶつけられると鬼は１０秒間止まるというルールで、鬼殺隊も楽しむことができたし、いい運動にもなりました。